

夕刊 常警毎日

発行所 新田町75番地
電話 210
常 警 毎 日
編集人 吉田 勇
印刷人 吉田 勇

御婚礼用
お履物
洋装各種
豊富取揃
御用命は……
三十米通りの
小松屋
TEL 1439

明春着工と決定 二三井系の勿來製塩工場

新日本化学小名浜製塩工場、興成化成製塩工場の建設に次いで勝浦製塩工場が建設されることになり、十三日東京本社で起工式を挙げて協賛した結果、同地区内に総工費十三億圓を投じて大規模製塩工場を建設することに決定、明春着工することになった。

総工費十三億
工場は同地区の海岸地帯に建設される。興成化成の大工場と並ぶ三つの大工場が建設されることになり、更に近き将来に予想されている低品位炭利用の大火力発電所の建設など総合開発の急進と相俟って工業都市「菊多市」の誕生の原動力ともなるものとして期待を集めている。

諸橋市長外遊?

結論は市長再選後?……に持ち越し
諸橋平市長さんにこのほどシカゴ市長M.H.ケネリー氏から「来年五月二十九日ロータリー五十周年記念祝典に貴下をとくに歓迎するのを楽しみに待つ」と招待状が舞込んだ。諸橋市長さんも「アメリカ視察なら……」と浮足たつているが、先立つものは金だよと御本人は深刻、いずれにせよ明春四月の市長選挙後にゆつくり考えることになったそうだ。

シカゴ市長から招待状

石城の供米

郡下の供米は完納日の十日までに

山崎炭礦一部再開

戸部系一組は依然スト続行

去る九日から共同斗争に入った戸部系三炭礦の斗争委員約十名は十三日午後一時から菊池小田炭礦所長、戸部同炭礦社長のほか田畑会長ら三名と開会、組合代表らが交渉したが、三炭礦の共同統一交渉については結論が出ないまま四時半散会、再び同六時半から平市労働会館に於ける三山の斗争委員を開き、四時間余にわたる協議の結果、戸部、小田の二炭礦は従来通り平市労働会館に於ける共同交渉を継続することを申し合わせた。一方、全炭礦連立に休山遊状にある組合員七十名の山崎炭礦が期待されている。

松飾りを廃止

小名浜臨港鉄道の試み

小名浜臨港鉄道(社長浦田文三郎氏)では昨年末、年始の会(献花をやめよう)を廃止、社内一同から好評を得たので、本年も門松廃止と共に献花をやめようを奨励することになった。

各鉱の期末手当斗争

閉山山崎炭礦の期末手当要求第三回交渉は、十日に行われ、会社側では第一次回答として、千円を

追予などを審議

二十日警城市議会議開

警城市の定例市議会議は二十日午前九時より、左の議案を上掲して開議。追予などについて承認を求め、追付債償還方法について、警城市固定資産評価準備金等調査委員会について、江名鉄道

秋山ら六名檢舉

内郷でヤミ列車急襲

内郷警察署は警員二十名を動員、十三日午後三時十五分、常警常備隊の上り四三六列車の干渉取締を行い、一人で四斗を所持していた内郷市白水町八二無職松本キチヨウ、同市総町八二無職鈴木カネヨウ、同市総町八二無職川原三三、同市赤井井戸一六無職秋山功徳、二斗五升の常警湯本順城四十四内田三三、一斗の常警上野三三を捕獲した。

大谷石

平電66

久保田真氏

警城市小名浜、久保田真氏(公保田真氏)氏は老衰で死去十四日午後二時自宅に於て葬儀を執行した。氏は明治三十年から小名浜町民の衛生思想の普及に尽力した、功大であつて、氏の今回の逝去は悼まれている。

15日ヨリ
大アマソンの密林地帯
に画期的ロケ敢行した
冒険映画の決定版
同時上映
女レスリング

矢野龍渓の戦い

セミノール族を味方として
凶悪キョウ族と戦うブレイ
イ討伐隊

主演 モーリン・オハラ
ジエブ・チヤンドラ

ヒガリ座 總天然色

近松物語

世界的文豪、大近松の最高名作を得て、三つの国際映画賞に輝く溝口健二が、最高適役で描く文芸巨篇

長谷川一夫
香川京子
小沢栄
南田洋子

満天下熱狂の宮本武蔵当り役
市川右太衛門 三浦光子
花柳小菊 二本柳寛

変化大名

第三篇火鼠の巻
龍虎八天狗

東千代之介
藤里まゆみ
千原明智

世界館

伊勢招板料

郷土の誇り……白馬の雪
灘の銘酒……桜正宗

才き焼

◎すき焼……御1人前……200円◎

カレーライス	60円
かきフライライス	60円
ランチ・タイム	
お好みおでん	
なべ焼	60円
すき焼	200円
タイム中	ライスサービス

午後三時マデ

酒を
ま
平市中央通り 電1820